



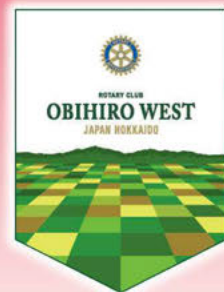
世界に希望を生み出そう

帯広西ロータリークラブ

第2453回例会

2023.11.2

会報



■RI第2500地区スローガン■

今こそ変わる勇気を！
さあ、一步前へ

■クラブ・テーマ■

皆に希望と笑顔と愛を！
ロータリーを楽しみながら活動しよう！**11月誕生祝**

林 文昭	会員	1947.11.22
茨木 雅敏	会員	1951.11.25
若林 剛	会員	1956.11.19
太田 豊	会員	1961.11.22
辻田 茂生	会員	1962.11.10
菊池 俊博	会員	1973.11.10
梅田 和志	会員	1977.11.12

**11月結婚祝**

渡部 省一	会員	1972.11.25
深澤 知博	会員	1983.11. 3
石原 英樹	会員	1984.11. 3
松田 貴史	会員	1994.11.22
會田 誠	会員	2008.11.11
所 輝泉	会員	2009.11. 1

で、来年ネタが無くなった時には私の代わりに谷脇委員長が代理で挨拶する場面があるかも知れませんので御察し頂ければと思います。

早いもので、もう11月になりました。白鳥や渡り鳥も見かけるようになって、8日には立冬を迎え冬の足音が聞こえてくる今日この頃です。林文昭先輩は今日はいらっしゃいませんが、先輩を先頭に11月生まれの7名の方、結婚祝いの6組の方、本当におめでとうございます。これからもですね、お幸せで健康に御留意されて活躍されることを祈念いたしまして乾杯させていただきます。

それでは、おめでとうございます、乾杯。

会長報告

天野 清一 会長

皆さんこんにちは。会長報告させていただきます。

今月はロータリー財団月間です。毎月寄付のお話があることを改めて会長になってから調べてみると、色々あるものだと思います。

ロータリー財団の始まりは、アーチ・クランフ氏が「ロータリーが基金を作り、全世界規模で慈善・教育・そのほかの社会奉仕の分野において何か良いことをしようではないか。」と国際大会で提案されたことがきっかけです。今日、西藤委員長がプログラムで皆さんに寄付のお願いがあると思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

今日は、スマホの次はどんな未来の形があるでしょう、ということで調べました。今年で携帯電話発売から50年・半世紀が経ちました。世界初の携帯電話を発明したのは、アメリカのエンジニアであるマーティン・クーパー氏です。1928年12月26日生まれで、誕生月日が私と1日違いです。今年95歳になられるということで、大変長生きされております。まだコードレスの電話機すら無かった時代の1973年4月3日に、歩きながら通話することができる機器を発明されました。34年後の2007年

**乾杯**

飯田 正行 会長エレクト

皆さん、こんにちは。御指名を頂きました飯田でございます。

昨日谷脇委員長から電話が掛かってきて、今日の乾杯の音頭をお願いしたいとのことで、この場に立っております。

実は今日皆さんにカミングアウトしなければならないことがあります。私は2001年11月に入会して以来22年経過したのですが、この場に立って乾杯の音頭をとるのが初めてでございます。先輩の皆様方が、こういう話をしているな、ああいう話をしているな、そろそろ自分の番が来るかな、次は自分かな、と思っていたのですが、あの堂山委員長でも、また私より後の入会の谷脇委員長ですら挨拶をされているのに、私の番はなかなか来なかったのが事実でございます。本来であれば今年も歴代会長にお願いするという話を聞いておりましたので、私の番は来ないと思っておりました。来年会長になった時には是非このネタで1回分の挨拶を終わらそうと思っておりましたが、こういう羽目になってしまいましたの



Rotary



会長 天野 清一
幹事 立崎 貴之

副会長 上野 裕司
副会長 柳沢 一元

会場監督理事 伊藤 公康
プログラム委員理事 近藤 真治

発行：広報委員会
委員長 板倉 利幸 (副) 朴 昌人



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

にiPhoneが発売、メールやインターネットができる機種が登場しました。当初、ボタン式からタッチパネル式への大きな変革があり、スマートフォンの時代に多くのものが移行していきました。今後はスマートフォンを持たない時代が来るだろうということで、クーパー氏は「将来は進化したコンピューターを搭載した小さなチップを耳の後ろに埋めて通話できる時代になるだろう。」とお話をされています。またその他にも「身体の中に埋め込むだけで身体の機能や状態を管理できるようなデバイスも登場するだろう。」と展開を語っておられます。情報通信端末は目覚ましい進歩を遂げ、仕事や連絡・音楽・映画・視聴・買い物など、ネットワークに人と人をだけでなく人とモノを繋ぐという未来予測も可能にした人工機能を搭載した情報端末が、仕事にも生活にも欠かせない存在になるということになります。年齢を重ね記憶力や柔軟性が衰えつつある私達は、熟練の経験や知恵を武器に、情報時代の未来に適応し豊かに暮らしていきたいものだと思います。

以上会長報告を終わります。

会務報告

立崎 貴之 幹事

①帯広北RC、11月3日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広西RC、11月23日(木)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広南RC、11月27日(月)の例会は、休会と致します。

帯広RC、11月29日(日)の例会は、休会と致します。

②帯広南RC、夜間例会開催のご案内

日 時 11月20日(月) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル

③清水RC・上土幌RC・帯広西RC、夜間合同例会開催のご案内

日 時 11月30日(木) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル

④例会終了後、定例理事会を開催致します。

・11月9日(木)の例会会場は、「ポロシリ」に変更となります。

・11月16日(木)「ガバナー補佐公式訪問」となっております。



- ・ガバナー事務所よりお礼の言葉を頂いております。「地区大会、多くの御登録並びに御参加を頂きましてありがとうございます。」
- ・北海道立帯広美術館より展示会「深堀隆介展」の御案内があります。優待券5枚を頂いておりますので、御興味ある方はお知らせ下さい。

委員会報告

ゴルフ同好会 萱場 誠一 委員長

先日、来春のゴルフ遠征の御案内をメールさせて頂きましたが、手違いで事務局を通した形になりました。同好会と事務局は関係ございませんので、今後気を付けます、申し訳ございませんでした。

メールにて御案内させて頂いた内容に目を通して頂きまして、来春の沢山の御参加をお待ちしております。



ニコニコ献金

谷脇 正人 親睦活動委員長

西藤 博行 ロータリー財団委員長

本日担当例会です。よろしくお願い致します。

高田 晃一 会員

協同組合帯広卸売センター 60周年式典では、西ロータリー会員の方々にもお世話になりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

萱場 誠一 ゴルフ同好会委員長

ゴルフ同好会最終コンペで優勝し年間賞も頂きました。ありがとうございます。

谷脇 正人 親睦活動委員長

今週末、次男の結婚式で札幌行ってきます。これでやっと片付いて、私も帯広から逃亡して違う所で密かに暮らしたいなあ、と夢見ております。以上、合わせてニコニコの発表とさせて頂き、ありがとうございました。



ニコニコ
献金

11月2日

19,000円

累計

231,000円 (11月2日現在)

◆プログラム

西藤 博行 ロータリー財団委員長

「ロータリー財団のいろは」



まず初めにですが、先輩会員の皆様にはお詫びをしなければなりません。本日の例会内容は、先輩会員の皆様にはまさしく「釈迦に説法」となります。

私を含めロータリー歴の浅い会員にロータリー財団を理解して頂こう、という趣旨で進めさせて頂きます。

ロータリー財団委員会の担当例会は2回ございまして、本日が第1回目、第2回目は来年5月9日に各種補助金について説明させて頂きます。

ー ロータリー財団とは ー

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです。

非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。ご寄付はロータリー財団

の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

天野会長は「皆に希望と笑顔と愛を！ロータリーを楽しみながら活動しよう！」とテーマを掲げました。会長のテーマを受け、当委員会では、財団の必要性を周知出来るような例会を通して、若い会員にも笑顔で寄付して頂けるよう活動して参ります。

ところで皆さん、委員長を受けたら最初に何をしますか？ほとんどの方は、過去何年かの活動計画を見て、自分の委員会が何をすべきかを考えると思います。そして大概是過去の計画書を参考にすると思いますし、私もそうでした。実際に今年度私が作成いたしましたロータリー財団委員会の活動計画書の活動計画について順に説明させていただきます。

2. 活動計画

- ① 会員一人 100ドルを財団へ寄付
- ② ポールハリスフェロー、準ポールハリスフェローの推進
- ③ マルチプルポールハリスフェロー、ベネファクターへのお願い
- ④ ポリオ撲滅への支援（ポリオプラス献金）
- ⑤ 寄付者への表彰を実施
- ⑥ 担当例会

第1回	11月2日
第2回	5月9日

① 会員一人100ドルを財団へ寄付

これは何年にも渡って同じことが書いてありました。今は日本の財団では150ドルをお願いされているそうです。実際にどうやって集めなければいけないのか調べたところ、当クラブでは年会費に含まれております。さらに後程お願いをしなればなりません、11月に新たな文書で会員の皆様にご寄付のお願いをさせて頂いております。

② ポールハリスフェロー・準ポールハリスフェローの推進

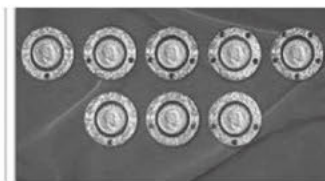
ポール・ハリス・フェロー (PHF) は、年次基金・ポリオプラス基金・災害救援基金・あるいは財団が承認したグローバル補助金へ、累積1,000ドル以上を寄付した個人に感謝を表すため（または認証ポイントを使ってほかの個人を称えるため）の認証です。認証は、認定状と襟ピンの贈呈をもって行われます。



③ マルチプルポールハリスフェロー・ベネファクターへのお願い

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証は、最初の1,000ドルの後に累積した寄付1,000ドルごとに授与されます。認定は、寄付額のレベルに相当する宝石の付いた襟ピンの贈呈をもって行われます。

将来に1,000ドル以上を寄付することを誓約する旨を書面にてロータリー財団に通知するか、恒久基金に1,000ドル以上の現金寄付を行った方が、「ベネファクター」となります。認証状、およびロータリーやポール・ハリス・フェローの襟ピンとともに身につける記章が贈呈されます。



当クラブの財団寄付者一覧を提示させていただきます。

当クラブの財団寄付者一覧 1/2

ポール・ハリス・フェロー
 上原善昭(2012) 田中輝臣(2016) 米田寛司(2017) 岡崎(2018)
 中川英明(2018) 立崎貴之(2018) 藤井信也(2019) 工藤正(2020)
 池田宏樹(2020) 松田高史(2020) 菊池俊博(2021) 近藤晋治(2021)
 伊藤公彦(2022) 伊藤真(2022) 豊平三斗(2022)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 柴田明樹(1988)8回 佐藤彰(1999)3回 太田宏明(2006)8回
 鈴木亨(2008)2回 近藤誠樹(2008)2回 太田貴(2013)3回
 山口文雄(2014)4回 越中孝生(2014)3回 山本純之(2014)3回
 藤田正行(2014)2回 佐々木高純(2014)3回 上野裕司(2014)
 山崎正(2014)2回 宮本隆敏(2015)8回 川田健樹(2015)7回
 林文昭(2015)7回 齋藤生(2015)4回 藤沢一(2015)4回 田中利徳(2015)4回
 ※続きあり

当クラブの財団寄付者一覧 2/2

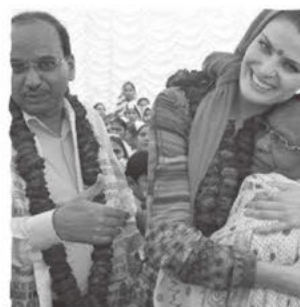
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 横山明美(2015)3回 石原英樹(2015)3回 深津知博(2015)2回 奥敏明(2016)8回
 飯井祐三(2016)5回 古田敦樹(2016)4回 森井忠之(2016)2回 若林剛(2016)2回
 堀内忠雄(2016)2回 大野清一(2016)2回 高田隆一(2016) 佐々木紀章(2017)
 久保良佳(2017)2回 谷松正人(2017) 藤山啓太(2017) 太田一也(2018)4回
 渡部幸一(2018)3回 河西哲子(2018) 青嶋一(2018) 藤田裕樹(2018)
 小谷典之(2018) 高田浩明(2018) 森原明(2019)2回 西橋博行(2017)
 北川勝敏(2012) 斎藤正彦(1999)

ベネファクター
 柴田明樹(1997) 林文昭(2001) 太田一也(2001)
 大友広明(2004) 鈴木亨(2011) 齋藤生(2014)

④ ポリオ撲滅への支援（ポリオプラス献金）

当クラブでは、2,000円×期首の人数(85人)が予算書に書かれておりますが、現在は一人30ドルをお願いされておりますので、来年以降委員長になる方は早めに対応をして予算取りをして頂ければと思います。

ポリオプラスについて説明いたします。ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目とし、1985年にポリオプラス・プログラムを立ち上げました。世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI) のパートナー団体との協力を開始した1988年には、125カ国で35万件以上の発症が確認されていましたが、以来、約30億人の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少しています。世界からポリオがなくなると認定されるまでに、ロータリーによる世界ポリオ根絶活動への寄付額は31億ドルを超える見込みであり、これにはビル&メリンダ・ゲイツ財団からの16億ドルの上乗せ資金も含まれます。



ポリオ(急性灰白髄炎)は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のまひを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。

ロータリーでは、職業や市民のリーダーが会員となり、地元や世界の問題に取り組んでいます。ポリオの根絶は、長年にわたってロータリー会員が力を注いでいる活動です。パートナー団体とともに、私たちは122カ国、世界25万人以上の子どもにポリオ予防接種を行ってきました。活動開始以来、世界の発症数は99.9%減っていますが、ポリオはまだ根絶されていません。私たちは、目標を実現するまで決してあきらめません。

ポリオを地球上からなくす5つの理由を挙げます。

1,犠牲となる子どもをなくす

現在、予防接種を受けていなければポリオ感染によって身体がまひに侵された可能性がある1800万人が生活しています。

2,根絶は可能

ポリオ根絶の手段、そしてすべての子どもに予防接種を行うための手段が、私たちには備わっています。

3,未来への投資

「ポリオのない世界」への世界的投資により、今後20年間に400～500億ドルの経済的恩恵がもたらされると専門家は見ています。

4,システムの強化

ポリオ根絶の取り組みによって、感染症を徹底して監視するためのネットワークが世界各地に築かれました。これにより、今後も世界中の地域社会を守っていくことができます。

5,公共保健活動のモデルとなる

世界中すべての子どもへの予防接種が可能であることが実証されれば、今後の世界的な公共保健活動の可能性をさらに広げることができます。

何故ポリオ根絶に資金が必要なのか。ポリオを根絶するには、野生型ウイルスによる発症が起きている2カ国(アフガニスタン、パキスタン)でウイルスの感染を断ち切らなければなりません。パートナー団体・各国政府・地域のリーダー・保健従事者・ボランティアとともに、活動の手をゆるめずに取り組む必要があります。世界からポリオがなくなるまでは、すべての子どもにポリオ予防接種を行う必要があります。

世界ポリオデー 2023についてですが、去る10月29日に東京駅にてロータリーファミリーが集い、ポリオについて学び、世間に対し、ポリオ及びロータリー活動をPRし、親睦を深めるために、ウオークラリー等のイベントを開催しました。私も今回色々調べましたが、全国には色々な地区およびロータリーでこの世界ポリオデーに合わせて街頭募金活動や様々なイベントや寸劇などを行っているそうです。色々な活動をしているロータリアンが各国にはおられることがわかりました。我々当クラブでも、今後対外的にもPRになる活動が出来ればと考えているところです。



エンドポリオについて良いアニメ動画がありましてので紹介視聴いたします。教えてエンドポリオ、教えてポリオプラス、等でYouTubeに出ています。御参照下さい。

最後になりますが、10月24日は、「世界ポリオデー」でした。近日中に皆様のもとへ、財団への寄付のお願い文を送付させていただきます。ポリオ撲滅に向けて、また補助金プログラム実施のためにご理解とご協力を宜しくお願い致します。

以上で、「ロータリー財団のいろは」と題した例会を終了させていただきます。次回は来年5月9日にロータリー財団の様々な補助金についてご説明させていただきます。ご清聴ありがとうございました。